

# 一般社団法人和食文化国民会議技・知恵部会 第二回部会議事録

平成 29 年 9 月 5 日

事務局

日 時 平成 29 年 (2017) 年 8 月 30 日 (水) 13:30 - 13 : 50

場 所 キックコマン(株)東京本社 KCC (東京都港区西新橋)

出席者 出席者 28 名, 委任状提出者 70 名計 98 名 (部議決権総数 174 名),

1. 開会・13 : 30 進行の田島事務局長 (専務理事) より開会が宣せられた。

## 2. 部会長挨拶

技・知恵部会村田部会長より、以下の内容の挨拶がなされた。

- ・去る 6 月 15 日の定時総会及び理事会において熊倉会長が退任し、名誉会長に、伏木会長代行が会長に選任された。自身は副会長、技・知恵部会長に再任された。
- ・今回の部会は、それを受けての招集であり、部会役員の選任を皆さんにお願いする。
- ・最近のトピックスでは、今国会会期末の 6 月 16 日に参議院本会議において、改正文化芸術振興基本法が「文化芸術基本法」となり全会一致で可決、成立した。「食文化」も明記されることになった。これにより、名実ともに、「食」が文化として認知され、その発展・振興の推進が本格的に図られることになった。

## 3. 決議事項

### ■副部会長・幹事選任の件

- ・村田部会長より、議決権総数 174 個に対し出席者 28 個、委任状 70 個計 98 個で定数を満たしており、本会議は成立しているとの報告があった。また部会運営規程により「副部会長及び幹事は、部会の互選により選出し部会長が任免する」との確認があった。
- ・村田部会長の指示により事務局より候補者の紹介があり、候補者の挨拶があった。
- ・更に、村田部会長より、部会運営規程に、副部会長は、1 名以上 3 名以内、幹事は 3 名以上 10 名以内の役員を置くとあるが、今後、以下のメンバー以外に、役員を増員する場合は、会長の承諾を得て部会長が決定したい旨報告された。その後、この件も含め、拍手をもって満場一致で候補者全員が承認された。

役職 候補者氏名 (敬称略)

副部会長 奥井 隆 株式会社奥井海生堂 代表取締役

幹事 長田 勇久 日本料理小伴天 代表取締役 (今回欠席)

小澤 真 ヤマキ株式会社 取締役常務執行役員 (今回欠席)

高木 慎一朗 株式会社銭屋 代表取締役 (今回欠席)

田村 隆 つきち田村 三代目主人  
山下 満智子 京都大学農学部 非常勤講師（今回欠席）

全ての方が再任。

#### 4. 報告事項

##### ■28年度活動レビュー

- ・6月16～17日には、普及・啓発部会と共催で「愛知の醸造・発酵文化と郷土の食材、料理の探訪」をテーマに視察・研修ツアーを実施し、10か所の製造現場を視察した。
- ・8月29日にはキッコーマン(株)東京本社 KCC にて、日本料理アカデミーの園部慎吾氏に登壇頂き、第一回講演「京都市における食育プログラムと出前授業の実際」をデモンストラーションと吸い物の試飲を含めて実施した。
- ・文化芸術振興基本法に「食」を明記することを目的とした『「食」を文化に!』検討委員会が9月15日に立ち上り、和食会議もメンバーとして参加、並行して日本食文化普及推進議員連盟、文化芸術振興議員連盟主催の勉強会にも積極参加し、村田副会長、服部理事を中心に法案の検討等、法改正に向けて活動を活発化させた。前述の通り平成29年6月16日には参議院本会議にて全会一致で可決され、名称も「芸術文化振興基本法」から「芸術文化基本法」となり、食文化が明記された。
- ・11月24日「和食の日」には、様々なイベントが開催される中、技・知恵部会が中心となって実施した。和食給食推進事業である「だしで味わう和食の日」では、各地で出前授業を行なった。東京では熊倉現名誉会長が、千代田区立富士見小学校に、新潟では、新潟市立曾野木小学校に村田部会長が、福井では、敦賀市立松原小学校に奥井副部会長が、そして高知の芸西小学校には、伏木現会長がそれぞれ出向き、だし引きの実演、試飲等を行いながら、子ども達に和食文化の素晴らしさを伝えました。この企画は、昨年度40都道府県で3,069校、生徒数にして約80万人が参加し、生徒さん方には、リーフレットを配布し和食への理解を深めることができた。
- ・12月8日には新宿区と共催で「だしで味わう和食～今、子ども達に伝えたいこと～」と題して講演会を開催、現普及・啓発部会長、当時技・知恵部会副部会長の後藤加寿子氏より子を持つ親の世代に向けて家庭の食事の重要性を訴えた。
- ・2月19日には、調査・研究部会と共催で「京のおぼんざい研究会」と銘打ち、菊乃井の大女将の村田英子さんに登壇頂き、京都の日常の和食を通して和食文化の神髄に迫った。

##### ■29年度事業計画（6事業を計画）

###### (1)視察・研修ツアーの主催

・平成29年度は、新たな地域・テーマを設定し、昨年と同様普及・啓発部会と共催で実施したい。その第一回として6月19～20日に静岡県において、塩の生産現場視察、塩づくり体験、わさび栽培の現場視察やあわさび漬けづくり体験、鰹節製造現場視察や、お茶の研修を行い会員24名が参加した。

###### (2)講演会・研修会・交流会の開催。

- ・講演会・研修会により、プロの料理人や料理研究家の技術やノウハウを共有する。  
特に「地域」にフォーカスして、優れた食材を発掘し、交流回会等を通して地域特有の良さを情報発信し、活性化につなげていく。その一環として、6月22日に福井県教育センターにおいて、福井県教職員組合の栄養教職部組合員50名を対象に「越前若狭と昆布」と題して奥井副部会長が講演を行った。
- ・本日8月30日の「料理に生きる技・知恵の東西比較」講演会も取り組みテーマの一つ。

### (3)「だしで味わう和食の日」の取り組み充実

- ・本年で3年目となる和食会議最重要事業である、保育所・小学校・中学校を対象とする「だしで味わう和食の日」企画は、初年度より、出前事業の取り組み等、技・知恵部会が中心的役割を果たしてきた。本年も料理人による出前事業の開催等、従来通り積極的に取り組んでいく。

### 5. 意見交換

- ・特に、意見は出なかった。

### 6. 来賓紹介・挨拶

- ・事務局より、来賓として農林水産省食品産業局食文化・市場開拓課和食室長五十嵐麻衣子氏、同門谷氏を紹介し、五十嵐室長より来賓のご挨拶がなされた。

### 7. 閉会

- ・所定の決議事項・報告を終え、13:50に村田部会長が閉会を宣し、平成29年度技・知恵部会第二回部会が終了した。

以上